



薬局通信 第102号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規患者限定医薬品
メラトベル顆粒小児用 0.2% ビムパット点滴静注 100mg フィコンパ細粒 1% カロナリーH 輸液・M 輸液	ルセントィス硝子体内注射液 10mg/mL KN1 号輸液 500mL カーバグル分散錠 200mg トコフェロール酢酸エステル顆粒 20%「ツルハラ」	レミッチOD錠 2.5μg エポプロステノール静注用 0.5mg「ACT」 ガチフロ点眼液 0.3% ベタメタゾンリン酸エステル Na・PF 眼耳 鼻科用液 0.1%「日点」 クリースピータ皮下注 20mg オブジーボ点滴静注 240mg
新規院外専用医薬品	採用中止医薬品	
ベオーバ錠 50mg イマチニブ錠 100mg テノゼット錠 300mg クラシエ半夏厚朴湯エキス錠 ジャヌビア錠 50mg タクロリムス錠 3mg「あゆみ」 カルフィーナ錠 0.5μg オルケディア錠 1mg・2mg プロ・バンサイン錠 15mg グルコンサンK錠 5mEq	【販売中止】 トラニラスト細粒 10%「トーワ」(後発) コペガス錠 200mg 【供給停止】 セファクロルカプセル 250mg「日医工」 【在庫不動】 グリバック錠 100mg アルサルミン細粒 90% セレベント50ディスクス スピロペント錠 10μg 【他規格導入】 ビムパット点滴静注 200mg 【同種・同効薬導入】 ハイカリック NC-L 輸液・H 輸液	

採用薬品の処方開始は、原則として **2020年9月1日** からとなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

・販売中止などにより変更した医薬品

No	院内採用削除薬	理由	当院採用薬での代替薬など
1	トラニラスト細粒10%「トーワ」	販売中止のため。	リザベン細粒10%（先発）
2	セファクロルカプセル250mg「日医工」	「日医工」製品が自主回収になり、市場よりなくなった上に供給停止になったため。	セファクロルカプセル250mg「トーワ」
3	グリベック錠100mg	在庫不動のため。	なし
4	イマチニブ錠100mg		なし ※院外専用薬へ変更
5	アルサルミン細粒90%		テブレノン細粒、アルロイドG内用液、レバミピド錠100mg
6	セレベント50ディスカス		メプチンエア-10 μ g吸入
7	スピロペント錠10 μ g		メプチン顆粒0.01%
8	ビムパット点滴静注200mg	右記薬剤の試用申請があったため。	ビムパット点滴静注100mg
9	ハイカリックNC-L輸液 ハイカリックNC-H輸液		コロナリーH輸液 コロナリーM輸液
10	コペガス錠200mg	販売中止のため。	なし

・その他

採用依頼医薬品紹介書（薬事委員会様式2号）の項目追加。

新規試用医薬品

① メラトベル顆粒小児用0.2% 処方箋医薬品

（ノーベルファーマ株式会社）メラトニン受容体作動性入眠改善剤

一般名：メラトニン

採用理由

小児適応があるため。

効能効果

小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善。

用法用量

- 1) 神経発達症の診断は、米国精神医学会の精神疾患の診断・統計マニュアル第5版（DSM-5注）に基づき慎重に実施し、基準を満たす場合にのみ投与すること。
- 2) 入床を一定の時間帯にするなどの睡眠衛生指導や、可能な場合には行動療法的治療を実施し、入眠潜時の延長のある患者に投与すること。
- 3) 6歳未満又は16歳以上の患者における有効性及び安全性は確立していない（当該年齢の患者を対象とした臨床試験は実施していない）。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：新医薬品のため不可（2021年6月1日長期投与可能予定）

薬価：207.⁸⁰円/g

② ビムパット点滴静注 100mg 劇薬・処方箋医薬品

(第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社) 抗てんかん剤

一般名：ラコサミド

採用理由

100 mgの方が使いやすいため。

効能効果

一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法
てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）

用法用量

ラコサミドの経口投与から本剤に切り替える場合

通常、ラコサミド経口投与と同じ1日用量及び投与回数にて、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。

ラコサミドの経口投与に先立ち本剤を投与する場合

成人

通常、成人にはラコサミドとして1日100mgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mgとするが、いずれも1日2回に分け、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。

小児

通常、4歳以上の小児にはラコサミドとして1日2mg/kgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kgずつ増量し、維持用量を体重30kg未満の小児には1日6mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児には1日4mg/kgとする。いずれも1日2回に分け、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、1日最高投与量及び増量方法は以下のとおりとすること。

成人

成人では1日最高投与量は400mgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg以下ずつ行う。

小児

4歳以上の小児のうち体重30kg未満の小児では1日12mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児では1日8mg/kgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg以下ずつ行う。

ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ1日最高投与量及び増量方法とすること。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：2,459円/瓶

③ **フィコンパ細粒 1%** 習慣性医薬品・処方箋医薬品

(エーザイ株式会社) 抗てんかん剤

一般名：ペランパネル水和物

採用理由

細粒が新しく発売されたため。

効能効果

てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）

他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法

用法用量

<部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合>

[単剤療法]

通常、成人及び4歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。維持用量は1日1回4～8mgとする。

なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高8mgまでとする。

[併用療法]

通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。

本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。

なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。

通常、4歳以上12歳未満の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。

本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。

なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。

<強直間代発作に用いる場合>

[併用療法]

通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。

本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。

なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：1,068.⁹⁰円/g

④ カロリーーH輸液 / カロリーーM輸液 処方箋医薬品

(扶桑薬品工業株式会社) 高カロリー輸液用基本液

※採用理由、効能効果、用法用量、処方区分、長期投与の可否いずれもカロリーーH輸液、カロリーーM輸液共通

採用理由

後発品への切替のため。

効能効果

経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分、電解質、カロリー補給。

用法用量

本剤は経中心静脈輸液療法の維持液として用いる。

本剤 700mL にナトリウム及びクロールを含有しないか、あるいは含有量の少ない 10～12%アミノ酸注射液 300～400mL を加えてよく混合し、維持液とする。

通常、成人 1 日 2000～2200mL の維持液を 24 時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。

なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：カロリーーH輸液 342 円/袋、カロリーーM輸液 284 円/袋